

## 一般社団法人関西地質調査業協会が立命館大学総合科学技術研究機構と

### 共同研究契約を締結

#### ～月・火星の資源探査に向けた「月面コアサンプラーの開発」をスタート～

一般社団法人関西地質調査業協会（理事長：小宮国盛）は、令和8年5月28日に立命館大学総合科学技術研究機構と、宇宙資源探査の技術確立を目指す共同研究契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 共同研究の背景と目的

現在、宇宙進出の本格化に伴い、月面や地下の探査、資源採取といったインフラ整備や産業利用への期待が高まっています。立命館大学は、月面での地盤調査・資源探査の専門人材や実証環境を本格的に推進するために「月面フロンティア SX 拠点」を展開しています。

当協会は、これまで培ってきた地質調査・地盤工学の知見を宇宙領域へと応用・展開すべく、同大学と連携し、月面での地下掘削およびレゴリス（月面の砂）採取技術の確立に向けた共同研究を開始いたします。

#### 2. 共同研究の概要

- ・ **研究課題**：「月面コアサンプラーの開発」
- ・ **研究期間**： 契約締結日から2028年3月31日まで
- ・ **研究内容（主な開発・検証項目）**：
  - ① 掘削流体（水など）を使用しない掘削技術
  - ② 油圧を使用しない電動掘削技術
  - ③ レゴリスのような未固結試料を乱さずに採取するサンプリング技術
  - ④ 削孔・サンプリングの自動化システムを実現するための試作機の開発および地上実証実験の実施

#### 3. 今後の展望

本共同研究を通じて、過酷な宇宙環境下でも動作する革新的な地盤調査・資源探査機器の試作機開発と地上実証実験を進めます。また、産学連携による技術の高度化と、次代を担う宇宙地質・地盤分野の人材育成に貢献し、日本の宇宙産業力の強化を足元から支えてまいります。

#### 【参考リンク】

立命館大学 月面フロンティア SX 拠点 公式サイト：

[HOME](#) | [月面フロンティア SX 拠点](#)